

校番	57	○	ホームルーム活動		生徒会活動		学校行事	別紙様式2
----	----	---	----------	--	-------	--	------	-------

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立熊野高等学校	校長	坂本 伸宏	生徒指導主事	柿菌 昌美
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『熊野町探究』
-------	---------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「協調性」「表現力」	2	「自信」	3

取組のねらい					
--------	--	--	--	--	--

みんなと協働して、新たな発見と感動を味わう。フォトメッセージカードを作成し、発表することで自信につなげる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『情報活用能力』
----------	---------------------

<p>このLHRを8時間、計画した。1時間目は、ガイダンスを行った。2時間目でタブレット等を用いて、熊野町のことを調べた。</p> <p>3時間目は、バスで現地に行って何をするのか、何を撮影するのかなど、実施計画を立てた。</p> <p>4時間目に、実際に調べた所に足を運んだ。1か所目は「熊野郷土館」、次に「トモビオパーク」にバスで移動した。タブレットで写真を撮った。</p> <p>5・6・7時間目は、それらをまとめる作業をした。</p> <p>8時間目は、それらをクラスで発表した。「どう表現したら自分の伝えたいことが正確に伝わるか。」など考えた。同じ所に行ったのに、表現の仕方、タイトルの付け方などにも多くの驚きがあった。</p>	<p>各班の行きたい場所を調整した。</p> <p>それぞれが「映える」写真を撮る工夫を考えた。</p> <p>表現力を付けるため、多くの素材を調べた。</p>
---	--

取組の成果と課題					
----------	--	--	--	--	--

ほとんどの生徒は満足していた。(満足度アンケートで4.75点であった。(5段階評価)) 地域の生徒は、地域外の生徒に認められたこともあり、自信になった。また地域外の生徒も、自分の住む地域に思いを重ねていた。()は生徒の感想。原文のママ(熊野はいいところがいっぱいあるので、熊野の人間として頑張りたい。)『地域外の生徒』(自分の町も、たくさん心を動かされるものを見つけられるように、日ごろから意識してみようと思った。)(色々な人の名言を知ることができたし、自分で考えてメッセージを作ることができたので、楽しかった。)と感想文を書いてくれた生徒もいた。発表は、(恥ずかしかったけど、がんばった。)と多くの生徒が感想を書いていた。これらのことから取組のねらいは達成できたと考えられ、多くの成果があった。

課題として、フィールドワークは、天候に左右されやすい側面もある。バスでの移動や現地での写真を撮るときなど、遠足気分になりがちであった。フォトメッセージカード作成も早くできた生徒は、「この部分は自分で行うため、どうしても協力できず」時間を持て余した。発表は、静かに聞けたが時間的に余裕がなかった。来年度に向け、もっと充実したものを計画し、生かしていきたい。